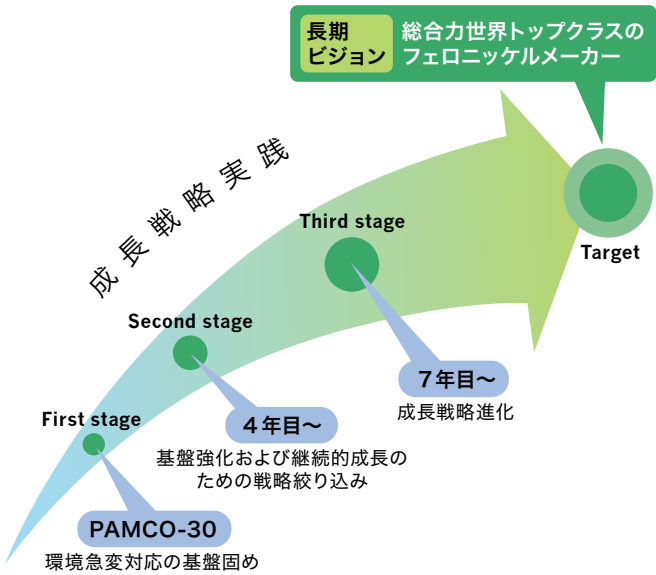


PAMCO-30の達成に向けた活動実績

総合力世界トップクラスのフェロニッケルメーカーを目指し、新たに設定した長期ビジョンを基に、いかなる事業環境でも利益の出せる強靱な企業体質の構築、ならびに成長戦略による企業価値向上のため、新中期経営計画「PAMCO-30」を策定しました。2016年度の「PAMCO-30」の各重点施策に対する取り組みは、概ね達成となりました。特に、当社製品の優位性を活かした差別化およびCS活動の向上、環境施策の強化において、精力的な取り組みを行いました。しかし、未達成となった取り組みもあるため、引き続き各施策に対して積極的に取り組んでいきます。

◎：達成    ○：概ね達成    △：未達成

| PAMCO-30<br>重点施策            | 具体的施策                                                                 | 2016年度の実績                                                                                             |                                                                 | 達成<br>状況 | 今後の予定（2017年度以降の活動）                                                                                                                       |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| フェロニッケルの<br>生産・販売施策<br>の強化  | 八戸製造所を最大限稼働し生産することを基本施策とし、将来の鉱石調達リスクおよび生産拡大を踏まえた海外製錬の展開も視野に入れた生産戦略の推進 | 社内外の関係者と連携し、ニッケルを取り巻く市場環境および他製外製錬の展開も視野に入れた生産戦略のための調査、検討を進め                                           | 鍊所の動向を見据えながら、海<br>ました。                                          | △        | 2016年度の活動を継続するとともに、調査した情報の詳細な分析および検討・精査を実施し、生産戦略の方策の検討を進めます。                                                                             |
|                             | 当社製品の優位性を生かした差別化およびCS活動<br>向上                                         | フェロニッケル製錬技術および優れた工場立地を活かし、製品品質<br>を継続し実施しており、お客様からも評価いただきました。                                         | の安定および希望納期への対応                                                  | ◎        | 2016年度の活動継続を基本とし、お客様との対話により、要望を抽出し、対応することで、さらなる差別化ができるよう改善を進めます。                                                                         |
|                             | 既存取引先との長期契約および拡販の道筋追求                                                 | フェロニッケルの既存取引先との長期契約を更新し、さらに、長期<br>または、新規取引先との長期契約に向けた検討を行いました。                                        | 契約を締結していない既存取引先、                                                | ○        | 長期にわたり安定してフェロニッケルを生産・販売できるよう、長期契約の締結、将来的な拡販およびその他の必要な方策の検討を進めます。                                                                         |
| ニッケル資源調<br>達の安定化            | ニッケル鉱石の長期安定調達と最適な調達コストの<br>追求                                         | ニッケル資源調達の安定化のため、新規供給ソースの調査および既<br>ました。また、資源供給先との連携による最適な調達コストを追求                                      | 存供給先からの情報収集を実施し<br>しました。                                        | ○        | 2016年度の活動を継続するとともに、さらなるニッケル鉱石の長期安定調達と最適な調達コストの追求のため、ニッケル鉱石供給先との連携強化を図ります。                                                                |
|                             | 将来の湿式製錬事業への方向性追求                                                      | 各ニッケル鉱石の特性調査と湿式製錬法による基礎試験などを実施<br>しました。                                                               | し、基礎データの収集・分析を実<br>施しました。                                       | △        | 各ニッケル鉱石への湿式製錬技術の適応力強化を図るとともに、他ニッケル資源への湿式製錬法に関する調査と基礎試験などを実施し、湿式製錬法の有効性評価を進めます。                                                           |
| 収益性の強化                      | 高効率の製錬技術の開発などを含む低コスト生産体<br>制の追求                                       | 収益性強化に必要なあらゆる方策を検討するため、原価検討ワーキ<br>ングル生産・販売における高効率・低コスト化の方策を検討し、実行                                     | ンググループを設置し、フェロニッ<br>に向けた活動を実施しています。                             | ○        | 2016年度の活動を継続し、フェロニッケル生産・販売における、さらなる高効率・低コスト化を図るため、方策の検討および実行を進めます。                                                                       |
|                             | 将来の収益基盤の強化のため新規事業の創出                                                  | 新規事業創出のための社内基盤づくりとして、新規事業ワーキング<br>要性等の社内意識付け教育を実施しました。また、新規事業の創<br>くりのため、外部セミナー受講等による情報収集を実施しました。     | グループを設置し、新規事業の重<br>出に向けた社内方策および体制づ<br>くり                        | ○        | 2016年度の活動を継続するとともに、新規事業の社内体制を整備し、社内教育で出された新規事業アイデアの調査・深掘りを進め、新規事業の創出を目指します。                                                              |
| 技術力・現場力<br>の強化              | 人財の育成のための階層別教育プログラムおよび人事<br>施策を構築                                     | 力量向上ワーキンググループを設置し、人財育成に関する階層別教<br>育プログラムを検討してき<br>決と考え、活動を人事制度の見直<br>しに変更し、2017年度に実施することとしました。        | 育プログラムの検討を実施してき<br>決と考え、活動を人事制度の見直<br>しに変更し、2017年度に実施することとしました。 | △        | 2017年度は、人事制度の抜本的な見直しを実施し、人財育成の基盤づくりをします。また、技術力・現場力の強化のための階層別教育プログラムの検討も継続します。                                                            |
| 環境対策および<br>労働安全衛生対<br>策の強化  | 社内自主管理の徹底による大気・水質汚濁防止およ<br>び省エネ推進による地球温暖化防止などの環境保護<br>対策のさらなる強化       | 環境保護対策の自覚醸成のため、従業員および請負会社社員を対<br>象とした全社教育を実施し、管<br>理必要な届出・報告などの不備が生<br>しました。                          | 象とした全社教育を実施し、管<br>理必要な届出・報告などの不備が生<br>しました。                     | ◎        | 社内自主管理徹底のため、全社教育を継続するとともに、環境保護対策に必要な業務の力量を特定し、必要な教育を実施します。また、行政機関への必要な届出・報告などに不備が生じないように、必要な社内体制の強化を図ります。                                |
|                             | 心身両面での健康管理の強化および安全風土の醸成<br>による安全意識の高揚を図り、無災害の樹立                       | 当社は無災害を達成できましたが、請負事業所、請負作業にて休<br>の健康管理および安全風土の醸成活動では、安全意識の高揚効果                                        | 業災害が発生しました。心身両面<br>が見られました。                                     | ○        | 場内で働く全ての人達の安全意識向上による完全無災害達成のため、従業員の心身両面での健康管理の強化を図るとともに、安全衛生の目標達成に向けた改善および有効性の評価を継続します。                                                  |
| コンプライアンス、<br>ガバナンス体制の<br>強化 | 内部統制システムの充実によるコンプライアンスの<br>強化                                         | 取締役会の諮問機関として内部統制委員会を設置し、管理すること<br>ます。2016年度は、業務における法令順守を確保するため、「法令等<br>等の改正に伴う社内規定見直し」を実施し、関係法令事項と社内規 | でコンプライアンスを推進してい<br>の改正有無の確認」および「法令<br>定類の整合性を図りました。             | ○        | 業務における関係法令事項と社内規定類の整合性を図り、法令順守の確保を推進します。また、内部統制の基本および全社的統制に関する教育を立案・実施するとともに、内部統制システムの問題点・弊害などを検証し見直すことで、内部統制システムの充実によるコンプライアンスの強化を図ります。 |



PAMCO-30の達成に向けた活動実績

当社を取り巻く事業環境が激変する中、利益を出せる強靱な企業体質と成長戦略の構築を目指して長期ビジョンを策定しました。その最初の3年間でPAMCO-30として環境急変対応の基盤固めの期間と位置づけ、実現に向けて邁進しています。

残念ながら世界のニッケルマーケットは先行きが明るいとは言えない状況が続いており、PAMCO-30の種々の取り組みもまだまだ不十分です。これからも倦まず弛まず<sup>ため</sup>気持ちを引き締めて、さらなる努力を重ねていく必要があります。足元の悪環境に挫けず、前を見て全従業員の力を結集していきたいと考えています。



取締役 常務執行役員  
経営企画・鉱石担当 小出 啓一